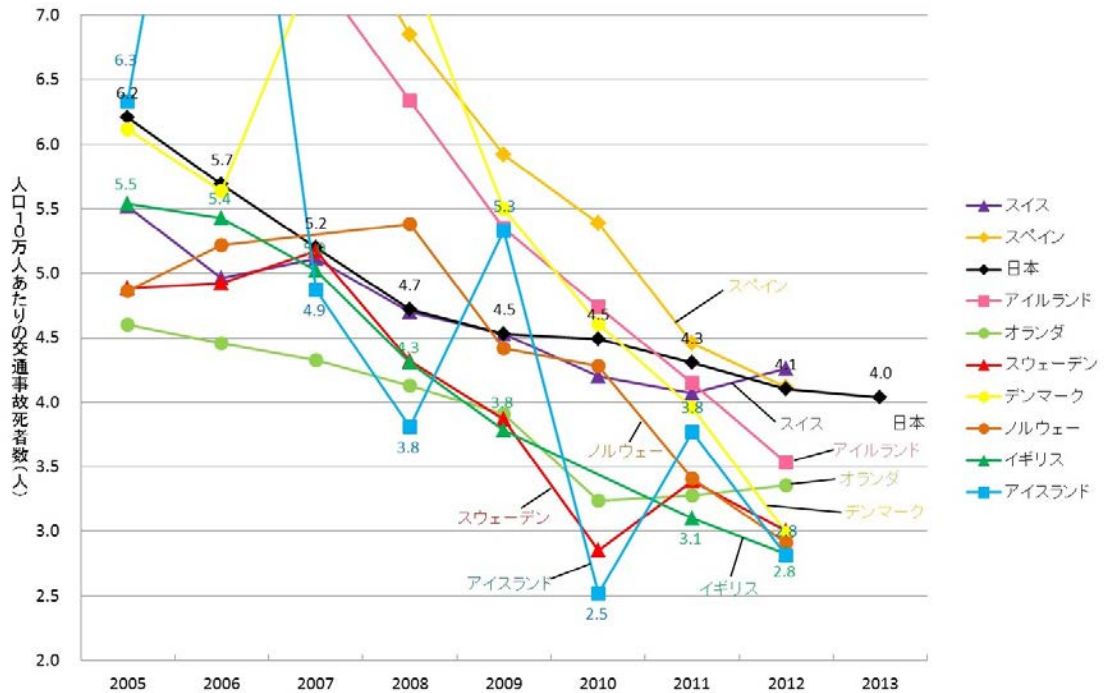


日本の人口10万人当たり交通事故死者数の推移を見ると、第8次交通安全基本計画期間中は平均6.2%減少していたが、第9次計画期間中は2013年まで平均3.4%の減少と、減少率が小さくなっている。

また、人口10万人当たり交通事故死者数が上位の各国は、日本以上に死者数の減少を続けている国が多いことから、日本の順位は2009年の5位を最高に2012年は8位まで低下しており、世界一安全な道路交通の実現に向けては、更なる取組の強化が必要になると考えられる。

人口10万人当たり交通事故死者数上位国の推移



出典：IRTAD 資料